

九月十八日

九月十八日

九月十八日

但乙九のとき定うと受目替に手紙が方角に記し
村方へ送ると乙九のとき十八日。目取
は家形家形十八のとき

九月十八日 一人 之店

一九月十八日

氏神祭り

但

乙九日ニ相定り候処、日替り之義願出候方角も有之
村方申値之上、乙九日廿五日十八日、日取三日
御圍窺十八日上り候事

文久二年

役人

戌九月十一日

長百姓

立会

乙九日 九月廿九日。九月三度の九月を農事に関する重要な節供。九月九日は初九日、十九日は中九日という